

学校図書館支援センター通信 NO.39 特集号

平成22年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



協力校 公開授業研究会！

～文部科学省委託「学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究」～

「学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究」（平成21・22年度文部科学省委託）を受け、協力校6校（中山小、宮田小、鶴指小、大洲小、塩焼小、第七中）において、今年度、公開授業研究会が開催されました。これまで、各協力校では、「子どもたちに確かな学力を育成するために、授業の中で、学校図書館をどのように有効活用すればよいのか。」について、各校の研究テーマと教科に即して、研究を進めてきました。

公開授業研究会では、子どもたちの発達段階や実態、教科の特質や単元のねらい等に応じて、指導過程の中に学校図書館活用が明確に位置づけられるとともに、実際に、図書や新聞等の図書館メディアを効果的に活用した学習活動が数多く展開されました。子どもたちは、自分の課題解決に向けて、図書資料を活用したり必要な情報を交換したりしながら、主体的に学習に取り組んでいました。これまでの各校の研究成果が、子どもたちの意欲的な学びの姿として随所に表れていました。

また、近隣の小中学校の先生方や学校司書・学校図書館員を中心に、多くの先生方が参観されました。研究協議会でも、多くの講師の先生方から、図書館活用のあり方やその具体的な活用方法について、示唆に富んだご指摘や指導・助言をいただきました。

学校図書館を活用することは、「目的」ではありません。子どもたちにこれからの時代に必要とされる確かな学力を身に付けさせるために、授業改善の一つの「手段」として、学校図書館の有効な活用を今後も日常的に推進していきたいですね。

【協力校 研究テーマ・教科一覧】

協力校名	研究テーマ	教科
中山小学校	子どもの探究心を育てる理科・生活科 ～思考の深まりを大切に授業づくり～	理科
宮田小学校	自分の思いや考えを伝え合う子どもの育成 ～学校図書館を活用して～	国語
鶴指小学校	PISA型読解力の学び方を通して、豊かな学びを実現する子の育成	国語
大洲小学校	確かな学力を身に付け、ともに学び合う子どもの育成をめざして	国語、算数
塩焼小学校	自ら考え、思いを伝え合える子どもの育成	国語
第七中学校	学校図書館を活用し、指導する具体的方法の探究	国語、社会、理科

研究全体会 ～第七中学校～

第七中学校では、教科別（9教科）の研究協議会の後、全教員が参加しての研究全体会が実施されました。講師の丸山光枝先生（日本女子大学 非常勤講師）から、図書館を有効に活用するための具体的な方策をご指導していただきました。

- 子どもたちが自ら調べたい、知りたいという思いや願いを持てるように支援する。
（資料提示の工夫・ちょっと調べの設定・ウェブサイトの活用など）
- 調べるテーマは、できるだけ具体的に（5W1H）、明確に設定する。
- 調べる過程で、グループ活動を取り入れて互いに学び合うようにする。



研究全体会（第七中）

※ 本事業における調査研究の経過と成果については、協力校の実践を中心に、『研究紀要』並びに『学校図書館活用授業実践事例集3』にまとめ、来年度4月に、幼稚園、小・中学校、特別支援学校に配付する予定です。

各協力校の実践 ～公開授業研究会から～

公開授業研究会において展開された、いくつかの授業実践をご紹介します。



中山小学校（7月14日）

～第6学年 理科「からだのつくりとはたらき」～

呼吸のはたらきについて、「吸う空気とはいた空気の違いを調べる実験」をしました。子どもたちは、実験結果から、「呼吸をするときには、体の中でどのようなことが起きているのだろう」という新たな疑問（探究心）を持って、呼吸のしくみについて調べ学習を進めました。



宮田小学校（11月24日）

～第4学年 国語「すじ道を立てて考えよう」～

自分で実験したことを題材にして、読み手（友だち）にわかりやすく伝えるために、記録文を書きました。身のまわりの物を使ってできる簡単な科学実験について、説明文で構成を学び、それを生かして記録文に表現し、その楽しさや不思議さを伝えようと、意欲的に取り組みました。



鶴指小学校（11月12日）

～第3学年 国語「本の世界をつなげよう」～

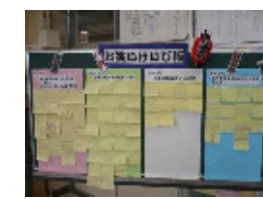
自分が気に入った本を選んで、「読書クイズ」を作りました。「わたしはだれでしょう。」「かわっているのはどこ。」等、クイズの内容に応じて、必要な情報を本の中から収集・選択して「出題カード」にまとめました。友だちに楽しく本の紹介をしようと、次々とクイズを作りました。



大洲小学校（11月25日）

～第4学年 国語「本の世界を広げよう」～

「笑い話」に関する読書発表会をしました。「外国の笑い話のおもしろさ」や「江戸言葉のおもしろさ」など、自分で決めた「テーマ」に沿って読書し、発見したことや感じたこと・考えたことを積極的に交流し合いました。子どもたちは、どの笑い話にも共通するものがあることを感じていました。



塩焼小学校（11月2日）

～第5学年 国語「課題を見つけて伝え合おう」～

新聞やテレビ、日常の話し言葉や町で見聞きした言葉を集め、「慣用句・ことわざ」「敬語」「略字・略語」「方言」等、日本語の特徴について、テーマを選んで調べ、グループごとに発表しました。友だちの発表を聞いて、日本語の面白さや不思議さについて自分の考えをさらに深めました。



第七中学校（11月1日）

～第1学年 社会「古代国家の歩みと東アジア世界」～

飛鳥・奈良・平安の各時代について、各グループで設定した主題に基づいて、図書資料を使って調べ学習に取り組みました。図書館員の助言も参考にしながら、必要な情報を取捨選択し、わかったことを自分の言葉でカードにまとめ、模造紙に貼りながらグループ内で共有しました。



『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>（※「市川市教育センター」で検索できます。）

